

環境調査結果のお知らせ

平成30年11月13日午前9時から浦ノ内湾の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温20～21℃、塩分32～33、溶存酸素量6～7mg/lでした。
透明度は4～5mで、有害種のシャットネラ属が確認されました。

水温と塩分(表1・2)

湾内の環境は、水温20.0～21.2℃、塩分31.8～32.9でした。

前回調査時(H30.10.18)と比較して、水温は全層で3.3～4.2℃低下しました。塩分は全層で1.2～2.5上昇しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量5.7～7.2mg/lでした。

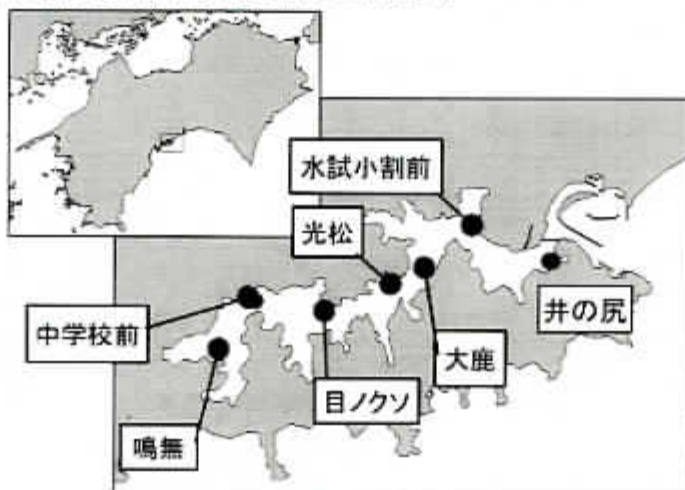
前回調査時(H30.10.18)と比較して、全層で0.3～1.5mg/l上昇しました。

透明度・プランクトン(表4・5)

透明度は4.4～5.4mでした。

検鏡の結果、有害種のシャットネラ属が1cell/ml確認されました。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ: 数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属: 10～100cells/ml(魚類へい死)
- ・ヘテロシグマ・アカシオ: 10,000～50,000cells/ml(魚類のへい死)
- ・ケラチウム属: 100cells/ml～(餌食いの悪化)

環境調査結果表(水温・塩分・プランクトン等)

表1 水温(°C)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(10/18)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	20.4	20.0	20.5	20.6	20.8	20.3	24.0	▲ 3.7
2m	20.5	20.4	20.6	20.6	20.8	20.5	24.5	▲ 4.0
5m	20.6	20.6	20.6	20.7	20.9	20.6	24.8	▲ 4.2
10m	21.2	21.0	20.7	20.8	—	20.8	24.5	▲ 3.7
B-1m	21.2	21.1	21.0	20.9	20.9	21.0	24.3	▲ 3.3

表2 塩分

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(10/18)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	31.9	31.8	32.0	32.1	32.4	32.0	29.5	2.5
2m	32.0	31.9	32.1	32.2	32.6	32.1	29.8	2.3
5m	32.0	32.1	32.1	32.2	32.7	32.1	30.6	1.5
10m	32.5	32.4	32.2	32.3	—	32.3	31.1	1.2
B-1m	32.5	32.8	32.7	32.6	32.9	32.7	31.4	1.3

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(10/18)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	6.9	7.2	6.9	6.9	6.9	7.0	6.7	0.3
2m	6.8	7.1	6.7	6.7	6.7	6.8	5.9	0.9
5m	6.7	6.9	6.8	6.6	6.7	6.7	5.2	1.5
10m	5.9	6.2	6.5	6.6	—	6.4	5.6	0.8
B-1m	5.7	6.1	6.1	6.5	6.7	6.2	5.4	0.8

※ 目ノクソ・光松・大鹿の平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前
水深	13.2	16.2	17.9	17.6	10.2
透明度	5.3	5.4	5.2	5.3	4.4
前回(10/18)	3.9	6.1	4.8	5.1	5.4

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ属	ケラチウム属	珪藻類
中学校前	0m	0	0	0	230
	2m	0	1	0	330
	5m	0	0	0	750
目ノクソ	0m	0	0	0	1,200
	2m	0	0	0	450
	5m	0	0	0	510
光松	0m	0	0	0	650
	2m	0	0	0	350
	5m	0	0	0	180
大鹿	0m	0	0	0	450
	2m	0	0	0	660
	5m	0	1	0	400
水試小割前	0m	0	0	0	420
	2m	0	0	0	360
	5m	0	0	0	170
井尻	0m	0	0	0	15
	2m	0	0	0	90
	3m	0	0	0	120
鳴無	2m	0	0	0	210